

立川市立新生小学校 授業改善推進プラン

<今年度重要項目>基礎・基本の定着

<高学年>指導方法の課題分析と具体的な授業改善策

	児童の実態 (○よいところ ●課題)	具体的な授業改善策(今年度の重点)
国語	○文章を読み、自分の経験と関連付けて想像を広げることができる。	・生活経験と関連付けて読書の幅を広げていくよう指導したり、読書環境を整えたりする。
	●既習の漢字や言語の理解などに課題がある。	・各教科においても普段から漢字で書く習慣を付けさせる。また、以前学習した漢字を繰り返し練習できるような時間を設定するとともに、家庭学習においても学習内容を復習するように働きかける。 ・書く場面を多く作り、相手に伝わる書き方を指導する。
社会	○課題に対して自分の予想を立てたり資料を活用して調べたりすることができる。	・歴史上の事象、人物の言動や時代背景等を資料から読み取らせる活動では、資料に基づいて自分なりの予想を書けるようにする。 ・日常生活とのつながりを常に意識させ予想できるようにする。
	●歴史的な背景を読み取ることに課題がある児童がいる。	・資料や教科書の内容を確認する際、資料と重要語句を関連付けて捉えさせるとともに、その背景にも目を向けられるようにする。
算数	○課題に対し、意欲的に取り組む児童が多い。	・習熟度別に合った課題を設定し、個々の児童が課題を解決に向かうよう意欲を高めていく。
	●「量と測定」領域の理解に課題がある。	・「k m」「L」「m」「d L」などの単位変換については、児童の身近にあるものに置き換え可視化して覚えられるようにする。
理科	○科学的事象に関心をもつ児童が多い。	・科学的事象と日常生活とを結び付けるなど、より興味・関心をもって学習に臨めるような課題設定を行っていく。
	●理科の用語を理解することに課題がある。	・理科に関する用語を別の色で板書するなどしたり、日常生活と関係付けたりするなど正しい言葉を覚えさせるとともに、家庭学習でも既習内容を振り返るよう働きかける。
音楽	○学習課題に前向きに取り組む、ワークシートなどを通して自分の思いをもてる児童が増えてきた。	・「聴き合い・教え合い・認め合い・高め合い」の場面を設け、個々が思いをもって工夫するよさ(楽しさ)を共有しながら、主体的に表現活動ができるような学習展開にする。
	●リコーダー等の演奏や歌唱表現に取り組む時間が少なく、技能面での個人差が大きい。	・様々な活動(リズム打ち、階名読み、階名唱など)で演奏の基礎・基本を押さえ、少ない時間でも音出しの確認できるようにする。 ・一人一人の習熟を見届けられるように、感染予防の配慮をしながら個別指導を積極的に取り入れるようにする。
図画工作	○自分の思うことを素直に表現する児童が多い。	・学習の中で児童が興味をもって取り組める課題、材料、表現方法を提示し、児童がより考えを広げられるよう指導していく。
	●知識・技能を深めていく力や、発想する力に課題がある。	・映像資料やそれ以外の資料を用意して、話しかけながら子どもの発想を引き出し、児童が様々な発想をできるようにする。鑑賞や、教え合いの時間を通して、自身の作品をよりよくできるように指導する。
体育	○意欲的に取り組む児童が多い。	・学習の中で児童が自分たちで活動内容を解決する課題と関連付けながら考えられるような場を設定していく。
	●基礎体力の低下が見られる。	・授業の中で走る時間を増やしたり、新生サーキットを利用したりして、基礎体力の向上を目指す。
家庭科	○学習に、協力して意欲的に取り組んでいる。	・視覚的に課題や学習活動が捉えられるような資料を多く取り入れ、分かりやすく見通しがもてる授業を展開していく。
	●扱う道具器具の名前を覚える必要がある。	・題材を通して用語を使いながら覚えられるようにするとともに、題材の終わりに振り返りの時間を作り確実に習得させる。また、家庭と連携し日常生活の中で調理器具を確認できるよう働き掛ける。
外国語	○外国語でのコミュニケーションを楽しむ児童が多い。	・ALTと協力し、自己表現することや他者についてを知ることの喜びを味わえる活動をしていく。

<p>●外国の文化をすすんで理解しようとする ことに課題がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・様々な人が日本で活躍していることを伝え、興味をもたせる。</li><li>・学習の中で外国の食べ物、行事などの様子や文化を紹介することで、外国の文化を進んで理解しようとする態度を育てる。</li></ul>
--	--